

2021年6月29日(火)

① 米国株式

(※参照:日経電子版)

28日の米株式市場でダウ工業株30種平均は3営業日ぶりに反落した。前週末比150ドル57セント(0.4%)安の3万4283ドル27セントで終えた。ダウ平均は5月につけた過去最高値に迫っており、足元で上昇が目立っていた景気敏感株に利益確定売りが膨らんだ。一方、米長期金利は低下し、ハイテク株など高PER(株価収益率)銘柄には買いが入り、指数を下支えた。

航空機のボーイングが前週末比3%超下落し、ダウ平均の重荷となった。開発が遅れている次世代大型機「777X」について、米連邦航空局(FAA)の承認は2023年半ばから後半になる見込みと伝わった。就航の遅れによる業績懸念を嫌気した売りが広がった。

米個人消費の回復期待を背景に株価の強含みが続いていたクレジットカードのアメリカン・エキスプレスやビザも下げた。前週末に好決算を材料に急騰したスポーツ用品のナイキが反落。米原油先物相場の下落を受け、石油のシェブロンも3%下げた。

債券市場では物価上昇は「一時的」との見方から、米連邦準備理事会(FRB)による利上げの前倒し懸念が徐々に後退している。米長期金利の指標となる10年物国債利回りは前週末から低下し、心理的節目の1.5%を下回って推移した。顧客情報管理のセールスフォース・ドットコムやソフトウエアのマイクロソフト、スマートフォンのアップルが上げた。

ハイテク株比率が高いナスダック総合株価指数は反発した。前週末比140.120ポイント(1.0%)高の1万4500.508と、過去最高値を更新した。半導体のエヌビディアが上場来高値を更新した。マイクロン・テクノロジーやアドバンスト・マイクロ・デバイス(AMD)など半導体関連株は総じて買われた。米連邦取引委員会(FTC)が反トラスト法(独占禁止法)違反で提訴していた件で、米連邦裁判所が訴えを退けたと伝わり、SNS(交流サイト)のフェイスブックは4%高となった。時価総額は初めて1兆ドルを突破した。

S&P500種株価指数は3日続伸し、前週末比9.91ポイント(0.2%)高の4290.61で終えた。前週末に続き過去最高値を更新した。

② 為替・原油

28日のニューヨーク外為市場でドル・円は110円97銭まで上昇後、110円50銭まで下落して引けた。

ホルツマン・オーストリア中銀総裁のハト派発言を受けた欧州通貨売りにドル買いが優勢となったのち、米6月ダラス連銀製造業活動指数が予想を下回り、長期金利の低下に伴うドル売りが強まった。

ユーロ・ドルは1.1902ドルまで下落後、1.1940ドルまで反発して、引けた。

朝方は、ホルツマン・オーストリア中銀総裁のハト派発言でユーロ売りが加速。その後、ドイツ連銀のバイトマン総裁がドイツやユーロ圏の物価見通しで上方リスクが見られると言及したためユーロ売りが一服。

ユーロ・円は132円21銭から131円78銭まで下落。

ポンド・ドルは1.3926ドルまで上昇後、1.3871ドルまで下落した。ワクチン接種プログラムの成功で一時は減少していた英国での新型コロナウイルス感染者数が再び急増したため、規制が長引き回復を抑制するとの懸念がポンド売りに繋がった。

28日のNY原油先物は反落。世界の新型コロナウイルス感染の再拡大で需要が減少するとの懸念に売りが優勢となった。

③ 富士フィルム(4901)

- ⇒ 最高値を更新中
- ⇒ 継続した買いが入っているようです
- ⇒ キャッシュリッチ企業を海外勢が狙っている模様

【富士フィルム:3年】

現在値 **8,164** +25 (+0.31%)

株価更新 現物買 現物売 信用買 信用売

